



2013年
秋号

さざんかの郷 福祉情報誌

ほのぼの生活

発行 高齢者総合福祉施設「さざんかの郷」 三木市吉川町大沢418番地 TEL.0794-72-1170



大切な家族を守り 育てていくために
ただひたすら命をかけて闘うぞ!!

コミュニティウィンドウさざんか

今年も夏まつりでは、ご家族と利用者様が一緒に楽しんでいただき、大変嬉しく思っております。当事業所においては、年々、外出行事や食事もレベルアップしており、充実した時間を過ごしていただけるよう日々努力しております。今後にもたくさんの新規利用者様のご利用お待ちしております。見学や体験利用を随時行っておりますので、是非お気軽にご相談ください。

誕生会



西山牧場



スイカ割り



三本ホースラン&パーク



さざんかの郷 8月4日(日)
「吉川町民
ソフトボール大会」で
ついに**準優勝!!**

デイサービス別館 さざんかデイサービス

α波の音楽に包まれた 時間と空間づくり

さざんかデイサービスでは、「安らぎ」サービスの一つとして、日替わりでα波の安らぎ音楽を流しています。音響も4スピーカーにしており、職員も利用者もゆったりと流れる空間と時間の中で1日を過ごしております。ぜひ体感しに来てくださいね!!



ワゴン図書館で回想効果

定期的に交換されるワゴン図書には、写真を中心とした本が揃えられています。一冊の本を介して、昔の体験談やその写真からまつわる思い出話をそれぞれのお年寄りから聞かせてもらい、いつも笑いの渦に包まれています。



こころのせんとく

心が明るいから、幸せへの感性も鋭くなる。幸せを容易に発見するから、心がまた明るくなる、という循環をくり返すわけである。幸福な人とはみなそういうものなのだろう。

思い出アルバム 第17回「夏まつり」

25年7月27日(土)

今年は「みっけい夏まつり」と同じ日になってしまいましたが、ボランティア 230 名を含む総勢 1,500 名の方々にとって今回も楽しい思い出となりました!!



毎回楽しみにされている吉川太鼓・子供太鼓!!



今回は可愛くて軽快な演技のトランポ・ロビックス「キッズポップコーン」の子供たちからスタート!!



クライ
素晴ら
「お花
ミニコ



しっとり聞かせてもらいました。
「ボロロン倶楽部」の演奏!!



今年も大盛況
でした!!



いつも盛り上げていただいて
ありがとうございます!!
「吉川音頭踊り保存会」



本当に盛り
「遊舞連」
婦人部によ

デイサービス

脳トレ・チャレンジ!!

世間では“脳トレ”が流行っていますが、ささんかでも熱心に取り組まれています。間違ひ探し・スケルトンパズル・・・毎週とても楽しみにされていて、腕も難易度も日々順調に上がってきています。



みんなで秋の工作作り!!

こちらは秋の壁面飾りを制作中。細かい所が大変ですが、好きな方々が日替わりでワイワイと机を囲んで下さっています。さてさてどんな風に仕上がるか楽しみです♪



ケアハウス

日帰り旅行 おじさい園

今年の日帰り旅行は三田市相野にある「おじさい園」に行ってきました。まだ1～2分咲きでしたが色鮮やかなおじさいを鑑賞できました。



じゃがいも掘り

今年もケアハウスのテラスで育ったじゃがいもの収穫を行いました。これは大きいねと言いながら今年もたくさんの収穫となりました。



夏まつり

今年の夏まつりは天候にも恵まれ屋台でのご飯や室内のゲーム、ステージの演芸など、みなさん思い思いに楽しいひとときをすごされました。



特養・ショート

こんな気持ちで
がんばっています!

井上靖久 (右)

4月から介護の仕事を始め、利用者の方からの「ありがとう」に励まされながら、毎日の暮らしの中へ笑顔が届けられればと思っています。



前田淳子 (中央)

毎日利用者さん達と接する事がとても幸せに感じています。これからも明るく元気に対応できるよう、心を尽くしていきたいです。

永岡武士 (左)

1月から介護の仕事を始め、わからないことだらけでした。少しでも役に立てるようにちょっとずつでも成長しようと思い日々がんばっています。

ユニット特養

セタ

無病息災、家内安全、延命息災、短冊になにをお願いしようかな。



夏まつり

今日は夏まつり。浴衣に屋台に舞台の出し物。最後の抽選会、一等賞当たるといいね。



新人紹介 保尾 佳世子

4月から特養本館2階から併設ユニットへ異動した保尾佳世子です。家庭的な生活環境で暮らしてもらえようがんばります。



みなさんの笑顔があるから来年も頑張ります!!



受付で抽選うちわをどうぞ!!

マックスでは、新しい歌声に感動!! 「heads」コンサートでした!!



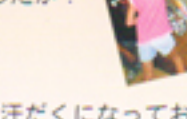
屋上からの花火をスタンバイ!!



今回の司会頑張りました!! いかがでしたか?



上がった阿波踊りと「Aみのり」の総踊り!!



汗だくになってお手伝いいただいた多くのボランティアさん!! 本当にありがとうございました。

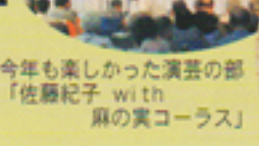


いか焼き、たこ焼き、串おでん、金魚すくい、射的・・・ほか、なんとバザーの数は29もあるんですよ!!



敬老祝賀会 平成25年9月14日(土)

平成25年度「敬老祝賀会」が行われ、今年も多くのご家族と一緒に、お年寄りの長寿をお祝いしました。



今年も楽しかった演芸の部「佐藤紀子 with 麻の実コーラス」

在宅介護支援センター

和氣 誠



7月よりさざんかの郷に勤務させていただきます。和氣です。
ケアマネと在宅介護支援センターを兼務させていただきます。地区訪問をさせていただいておりますので顔を見かけたら声掛けていただければ幸いです。以前、勤務していた事がありますので覚えのある方もおられるかも知れません。
再度、さざんかの郷でがんばって参りますのでよろしくお願い致します。

管理栄養士 淳ちゃんからの厨房だより

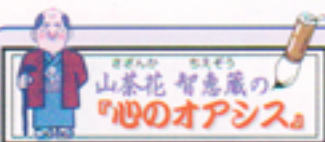
残暑が厳しくまだまだ暑いですね。暑いと細菌の増殖も活発で食べ物が傷みやすく、私たちの体も夏バテなどで消耗気味と悪循環です。食中毒は飲食店だけでなく家庭でも起こりえることです。



細菌やウイルスは目に見えないので、いくらきれいにしても私たちの周りの至る所に存在している可能性があります。例えば、スポンジやふきん、シンク、まな板、冷蔵庫の野菜室などは細菌やウイルスが付着し、増殖しやすい場所です。また、買って来た食材や自分の手にも付着していることがあります。手を洗わずに食材や食器など触ると手を介していろんな所に菌が付着してしまいます。

神経質に考えると日々の食事作りがおっくうになりますね。でも、目に見えないけど存在するものがある、それは体に悪い。それらを体の中に入れないために食中毒予防の3原則は

①菌をつけない ②菌を増やさない ③菌を殺すことです。次回は具体的にどうすればいいのかお話しします。



寿命と存在価値

昔ある新聞に、ある老人ホームで平均寿命が延びた、という記事がありました。その内容は、老人ホームの横に幼稚園ができた時、フェンスをつくらず自由に行き来できるようにしたら、それ以来子供たちが遊びに来たり、お年寄りが幼稚園を訪問し交流が深まるにつれて、その老人ホームの平均寿命が延びたというのです。お互いに訪問し合っ一緒に歌を歌ったり、手紙を交換したりしているうちに、お年寄りたちはいきいきとしはじめ、老人ホームの中の雰囲気まで変わって明るくなったとのこと。また反対に、田舎で一人暮らしの母に、ガスを付け忘れたら危ないからと、オール電化のキッチンシステムをプレゼントしたら、急に老け込んでしまったという話

可愛い お盆前の窓拭きボランティア



夏休み中の8月4日(日)に、ふれあい学級の子供たちがたくさん来てくれました。今回は、大切に育てたプランターの花をお年寄りへのプレゼントとしていただき、みなさん何度も見に来られて大喜びでした。ほんとうにありがとうございました。



訪問介護

内垣 美代子



8月1日より、ケアハウスより訪問介護事業所へ異動しました内垣美代子です。

誠実なケアに努め、ご利用者様と共感でき、地域の方々のお役にたてるようにがんばってまいりますのでよろしくお願い致します。

配食サービス



吉川地区を中心に、65歳以上の1人暮らし又、高齢者世帯で、食事作りが困難な方を対象に月曜から金曜までお好きな曜日の夕食をお届けします。

お届け時には安否確認を行い、1食450円にてご利用いただけます。

もあります。この実話から、長寿のための存在価値や役割の大切さについて学ばなければならないと思います。人はまず生まれてくると、子供という役割(=存在価値)があり、学校に通うようになれば生徒という存在価値があります。女性であれば結婚すると妻という役割が生まれて、子供を授けると母親という人生で一番長い期間を伴う存在価値が大きくプラスされます。そしていつの日か愛する夫に先立たれ一人の生活が始まっていくのですが、女性としての存在価値は残っています。このように、存在価値・役割があるときは誰もが生き生きとしていたのではないのでしょうか。この老人ホームから学べることは、たとえ高齢になっても、存在価値・役割といったものから明るく積極的に生き生きと生きることの喜びを糧にすることができれば、充実した「人生の最終章」を送れるのではないかと思います。